



株主、投資家、取引先、社員のみなさまへ

第15期 中間事業報告書

2003年4月1日から2003年9月30日まで



© SK JAPAN CO., LTD. / HARALY & KUMMO



株式会社 エスケイジャパン

(証券コード: 7608)

Financial Highlights 財務ハイライト

売上高

(単位: 百万円)



経常利益

(単位: 百万円)



中間(当期)純利益

(単位: 百万円)



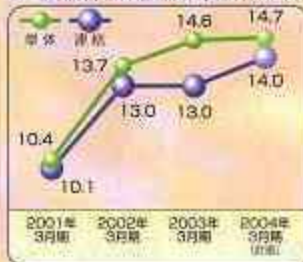
株主資本比率

(単位: %)



ROE(当期(純)利益/株主資本)

(単位: %)



配当性向・1株当たり配当金



1株当たり中間(当期)純利益

(単位: 円)



1株当たり株主資本

(単位: 円)



連結従業員数・平均年齢

(単位: 人)



(注) 1. 数行消通式記載は、中間期は前年からの前期末までの100%比較の平均で、通期は前年から前期末までの1年間の期中平均で算出しております。
 2. 当社は、2002年9月30日付で1株につき1株の分割を、また2003年11月30日付で1株につき1.2株の分割を行っており、1株当たり配当金等(円)の指標は当該分割前に行なう影響を反映し、当該修正を行った時点の1株当たり指標の倍率を記載しております。これにより、2004年3月期における1株当たり当期純利益および1株当たり株主資本につきましては、2003年3月30日時点の発行済株式数を1株につき1.2株分割したものとして計算しております。
 3. 1株当たりの配当金等(円)は、2002年3月期には前年比二割増しの2.1円、2003年3月期には前年比一割増しの2.5円、2004年3月期には前年比一割増しの2.9円とされています。



**Financial Highlights**
(財務ハイライト)**ごあいさつ****Top Interview****Character Lineup****Consolidated Financial Statements**
(連結財務諸表)**Non-Consolidated Financial Statements**
(単体財務諸表)**Corporate Profile**
(会社の概要)**Stock Information**
(株式情報)**株主メモ**

株主、投資家、取引先、社員のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに第15期（2003年4月1日から2003年9月30日まで）の中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

エスケイジャングループは「子供から大人まで幅広い層に夢を与えるキャラクター商品を人々の生活の中に提供する」をモットーに、癒し・安らぎ・潤いのある商品の企画開発・販売に取り組み、創業以来13期連続増収を続けております。

当中間期は、リストラ効果による企業収益の回復傾向などにより、一部で持ちなおしの兆しが見られたものの、デフレ対策の遅れ、企業倒産の増加、米国をはじめ世界情勢の減退などが影響し、景気は依然として明るさが見えない厳しい状況が続き、個人消費についても先行きに対する消費者心理の変化や節約志向により低調に推移しました。この情勢は好調であったアミューズメント業界にも影響を及ぼし、商品や価格等の面で熾烈な競争が続いております。その中でエスケイジャングループは積極的な人材の登用と育成に努め、平均年齢28.5才という若さを武器に時代と環境の変化をすばやく察知し、高付加価値商品を提供していくことで持続的な利益成長につなげていきたいと考えております。

また、おかげさまで2003年3月6日をもちまして東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。これもひとえにみなさまのご支援の賜物と深く感謝するとともに、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2003年12月



代表取締役社長

久保敏志



Q.業績好調の要因は？



© HANSHIN Tigers

Q.部門別の概況は？

第22回 AOU2003
アミューズメント・エキスポ



第56回 東京国際ナショナル
ギフトショー



A.不況やデフレ等の影響から消費者の間で換約志向が高まり、レジャーも遠出を控え、天候に左右されずに気軽に楽しめる「安・近・短」(安く、近くにあり、短期間)なアミューズメント施設への来場者が増えたことにあります。また、大型のショッピングセンター内に併設された施設では家族連れで休日を楽しむ姿も多く見られ、それらの施設の業績とともに当社の業績も好調に推移しました。また企業や学校などの週休二日制の定着も追い風となっています。それに加え今期は阪神タイガースフィーバーの影響を受け、タイガース関連グッズはもちろん、他の商品も相乗効果を受ける結果となりました。

A.エスケイジャングループはアミューズメント、SP(販売促進・ノベルティ)事業の(株)エスケイジャパン、物販事業の(株)サンエス、電子玩具・雑貨の企画開発事業の(株)ケー・ディー・システムの3社で構成されています。

株式会社 エスケイジャパン

アミューズメント施設への販売は、当中間期売上高3,895百万円(前年同期比131.9%)と増収になりました。上述のとおりアミューズメント施設の好調、阪神タイガースフィーバーに加え、商品企画部門の強化を図り、顧客に喜んでいただける商品作りに努めてまいりました。その一環として、6月から商品企画部門と子会社の同部門とを一箇所に集約し、新たに業務を開始いたしました。これによって今後はグループ全体の商品力アップにも繋がると考えております。SP(販売促進・ノベルティ)部門も当中間期売上高69百万円(前年同期比111.1%)と増収で、大手メーカーのキャンペーン商品を手がけられるまでになりました。今後グループ内の新たな柱となるように営業力の強化に努めてまいります。

株式会社 サンエス

物販業界は今もなお不況の波から完全に抜け出せない状態ではありますが、そんな中でも強い店舗は確実に売上を伸ばしており、当社もそういった店舗に集中して営業をかけてまいりました。その結果当中間期は売上高794百万円(前年同期比135.7%)となりました。

クリスタルストラップバラダイス



送信するとクリスタルがキラキラと光ります。



株式会社 ケー・ディー・システム

昨年の11月にグループ化以来、エスケイジャパングループの電子玩具の製造企画部門として機能してきました。ディズニー商品等の発売で当中間期の売上高は81百万円で、今後もグループ内の他の部門に相乗効果をもたらすようにしていきたいと考えております。

Q. 株主総会について

A. 株主総会は毎年6月に本社の近隣のホテルで開催しています。株主総会の後には懇談会の場を設け、会場内にはプライズのゲーム機を用意し、株主のみなさまに自由に楽しんでいただけるようにしております。また役員をはじめ社員とも自由に懇談をしていただき、当社としても株主のみなさまの声を聞ける貴重な場と考えております。右の写真のとおり多くの株主のみなさまに出席していただき、その数も毎年増加しており、また株主数も今年の3月末の984名に比べ、当中間期末(9月末)には1,244名にまで増加しました。そして、将来的には休日に開催し、株主のみなさまにご家族でお越しいただき、ゲーム等で楽しんでいただける開かれた総会にしていきたいと思っております。

第14期定時株主総会



Q. 株主に対する還元は？

A. 当社の方針は安定的な成長を遂げつつ、株主のみなさまに安定的な配当を継続的に実施していくことであります。まずは安定した配当を実施することを第一とし、予想を上回る利益が出た時には株式分割(無償交付)で還元していきたいと考えております。今期は第1四半期の決算発表と同時に9月末の株主に対して1:1.2の株式分割を昨年に引き続き実施することを発表しました。また、阪神タイガースの優勝を受けて当社の業績も好調なため、配当金の増額を実施することとし、1株に2円を加えた中間配当8円、年間配当14円を計画しております。株主のみなさまの期待に応えられるよう、上場以来株主還元を経営の重要課題として取り組んでおります。



Q. IRに対する取り組みは？

A. 当社は1999年の上場以来四半期決算を行い、株主、投資家のみなさまに早く正確な情報を提供してまいりました。また知名度の向上、株主数増加のために個人投資家向けの会社説明会も年に数回行っており、当社ホームページにおきましてもIR情報を随時公開しております。まだまだ当社に対する世間の認知度は高くはないと考えておりますので、今後も継続して積極的なIR活動を続けてまいります。

Q. 今後の経営戦略と抱負は？

A. エスケイジャパングループはキャラクター業界のオンリーワン企業を目指し、「連結売上高100億円」「東証一部上場」を3年以内に達成することを目標として掲げ、企業価値を高めステークホルダーに満足していただけるよう、グループ丸となって目標達成のために取り組んでおります。そのためにも積極的な人材の採用を行い、販路の拡大、営業力・企画力の強化に努めてまいります。またグループ全体で業務の効率化を図り、より一層の利益率の向上に努めてまいります。さらに時代に柔軟でスピーディーな経営を目指し、常に時代のトレンドをつかみ、顧客に心地よいモノとサービスを提供していきたいと考えております。企業価値を高め、株主と会社、取引先、社員と家族、社会が幸せになる継続的な企業を創造していきたいと思っております。

Group Network

エスケイジャパン本社

〒540-0005 大阪市中央区東1-3-10 エスケイビル
TEL 06(6765)1300 FAX 06(6765)1400
(株)サンエス(北沢ビル)
TEL 06(6765)4411 FAX 06(6765)3366



(1) 本館



(2) 支館



エスケイジャパン奈良営業所

〒111-0051 東京都台東区橋本4-33-7 エスケイビル
TEL 03(3862)8444 FAX 03(3862)8448
(株)サンエス(北沢ビル)
TEL 03(3862)7776 FAX 03(3862)8661
(株)ケーデューシステム
〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-21-B ASビル
TEL 03(5635)4670 FAX 03(5635)4676



エスケイジャパン福岡営業所

〒812-0041 福岡市博多区芥屋2-15-11 エスケイビル
TEL 092(611)7789 FAX 092(611)7700
(株)サンエス(北沢ビル)
TEL 092(611)7730 FAX 092(611)7720



エスケイジャパン名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄3-1-26 本町南ビル508号
TEL 052(243)1311 FAX 052(243)1322



Character Lineup

★アミューズメント景品



Sanrio
LICENSE

クリスマスに向けてサンリオキャラクター達をブーツでラッピングしました。今回から大人気のキキ&ララも仲間入り！

© 1976, 1996, 1998, 1999, 2003
SANRIO CO. LTD.
APPROVAL No. S4102910

★アミューズメント景品



真文字D

おなじみの頭文字Dが今回はクッションになりました。横にはおまけのミニカーが入ったカプセル付！車ファンなら絶対ゲットしたい逸品！

©しげの秀一
ノ講談社・トゥー・マックス・オービー・企画

★アミューズメント景品



黒クロマティ高校

「週刊少年マガジン」で連載中の船!!クロマティ高校が今秋からついにTVアニメに登場！クロマティ高校を舞台に個性的な登場人物が大暴れ！アニメ化になる前からすでにヒット商品！

©野中英次/講談社

★アミューズメント景品



わんこ屋
wanko-tai

ティーンズファッション誌「nicola」で親しまれたわんこ達がぬいぐるみになりました。ちょこんとお尻に乗った姿がキュート！

©おかえり、ノドリームエッグス/新潮社

★物販商品



阪神タイガースグッズ

18年ぶりの優勝を果たした阪神タイガースの屋野監督&田淵コーチの名コンビ！全国にタイガース旋風を巻き起こした今期は大ヒット商品となりました。

©HANSHIN Tigers

★SP商品（販売促進・ノベルティ）



福岡ダイエーホークスグッズ

こちらはパ・リーグの覇者、福岡ダイエーホークスのキャラクター「ハリー」を用いたぬいぐるみ、マグカップ、クリップマスコットです。OEM（相手先登録による商品の生産）による物販品および販売促進商品を提供しております。

©FDH



Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	期別	前中間期 (2024年 06月30日現在)	当中間期 (2024年 09月30日現在)	前期 (2023年 09月30日現在)
(資産の部)				
① 流動資産		1,867	2,717	2,457
現金及び預金		630	1,194	949
受取手形及び売掛金		898	1,194	1,201
租 借 資 産		245	252	237
繰延税金資産		31	79	45
その他の		69	26	44
貸倒引当金	△	8	△ 31	△ 20
固定資産		1,090	1,133	1,115
有形固定資産		807	793	801
建物及び構築物		324	307	316
土地		469	469	469
その他の		14	15	15
無形固定資産		26	21	32
投資その他の資産		255	319	281
投資有価証券		80	88	80
破産債権・更生債権等		15	17	19
保険積立金		127	186	146
その他の		54	71	59
貸倒引当金	△	22	△ 44	△ 25
資産合計		2,957	3,850	3,572
(負債の部)				
流動負債		975	1,534	1,443
買掛金		549	872	891
短期借入金		208	227	177
その他の		217	433	374
固定負債		60	63	69
長期借入金		14	6	10
退職給付引当金		45	56	59
負債合計		1,036	1,597	1,513
(資本の部)				
資本金		342	365	343
資本剰余金		373	397	375
利益剰余金		1,206	1,492	1,341
その他利益剰余金		-	0	103
自己株式	△	2	△ 2	△ 2,358
資本合計		1,921	2,253	2,058
負債資本合計		2,957	3,850	3,572

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	期別	前中間期 (2024年 06月30日現在)	当中間期 (2024年 09月30日現在)	前期 (2023年 09月30日現在)
② 売上高		3,532	4,740	7,968
売上原価		2,608	3,425	5,825
販売費及び一般管理費		745	908	1,617
営業利益		178	406	526
営業外収益		4	3	14
営業外費用		19	5	46
経常利益		163	403	494
特別利益		10	-	-
特別損失		0	2	0
税金等調整前中間(当期中間)純利益		172	401	493
法人税、住民税及び事業税		81	224	256
法人税等調整額	△	2	△ 28	△ 18
中間(当期中間)純利益		93	205	255

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

①前中間期比で、現金及び預金が564百万円、受取手形及び売掛金が296百万円それぞれ増加したこと等により、流動資産は前中間期比で849百万円増加しました。

②前中間期比で、アミューズメント業界向け販売事業が929百万円、物販業界向け販売事業が243百万円それぞれ増加したこと等により、連結売上高は前中間期比で1,207百万円増加しました。

連結は当社と株式会社サンエスと株式会社ケー・ディー・システムとの3社から構成されております。



Non-Consolidated Financial Statements 単体財務諸表



貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期 (2024年9月30日)	当中間期 (2024年12月31日)	前期 (2024年9月30日)
(資産の部)				
流動資産		1,728	2,370	2,157
現金及び預金		553	1,086	920
受取手形及び売掛金		760	957	987
棚卸資産		185	160	170
その他		236	195	94
貸倒引当金	△	7	28	15
固定資産		1,086	1,160	1,130
有形固定資産		806	790	800
建物及び構築物		324	307	316
土地		469	469	469
その他		12	12	14
無形固定資産		15	12	14
投資その他の資産		264	356	315
投資有価証券		80	88	80
破産債権・更生債権等		11	13	14
保険積立金		127	186	146
その他		63	108	93
貸倒引当金	△	18	40	20
資産合計		2,815	3,530	3,287
(負債の部)				
流動負債		841	1,171	1,140
買掛金		436	663	738
短期借入金		178	120	66
その他		226	387	336
固定負債		60	63	69
長期借入金		14	6	10
退職給付引当金		45	56	59
負債合計		902	1,234	1,210
(資本の部)				
資本金		342	365	343
資本剰余金		373	397	375
利益剰余金		1,199	1,534	1,360
自己株式	△	2	2	2
資本合計		1,913	2,295	2,077
負債資本合計		2,815	3,530	3,287

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期 (2024年9月30日)	当中間期 (2024年12月31日)	前期 (2024年9月30日)
① 売上高		3,015	3,965	6,816
売上原価		2,228	2,860	4,985
販売費及び一般管理費		605	693	1,291
② 営業利益		181	411	540
営業外収益		12	11	29
営業外費用		19	4	45
経常利益		174	418	524
特別利益		1	-	-
特別損失		0	2	0
税引前中間(当期)純利益		175	415	523
法人税、住民税及び事業税		81	213	256
法人税等調整額	△	3	25	19
中間(当期)純利益		97	228	285

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

① ショッピングセンター系・量販店系オペレーターを中心にチェーン展開しているアミューズメント施設への営業を強化し、シェアの拡大に努めました。その結果、売上高は前中間期に比べて949百万円増加しました。

② 販売費及び一般管理費の増加を抑えたため、営業利益は前中間期に比べて230百万円増加し、営業利益率は4.4ポイント上昇しました。





Corporate Profile 会社の概要 (2003年9月30日現在)

○会社概要

商号 株式会社エスケイジャパン
 英文社名 SK JAPAN CO.,LTD.
 設立 1989年12月14日
 本店所在地 〒540-0005
 大阪市中央区上町一丁目3番10号エスケイビル
 資本金 365,903,919円
 従業員数 97名
 (グループ合計138名 平均年齢28.5才)
 事業内容 キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー、
 家庭雑貨、携帯電話向けアクセサリグッズ、
 プライズ商品等の企画・製造・販売
 主要取引先 株式会社シチエ、株式会社アスモ、株式会社ナム
 コ、株式会社ラウンドワン、株式会社スガイ・エン
 タテインメント、株式会社マタハリー、株式会
 社ファンフィールド、アドアーズ株式会社、株式
 会社ワイドレジャー、株式会社タイトー、株式
 会社イオンファンタジー、プレビ株式会社、株
 式会社ソニー、昭和開発株式会社、株式会社ハ
 ーマン、株式会社トムス・エンタテインメント、
 コナミ株式会社、株式会社カプコン、株式会社
 バンプレスト、株式会社アミバラ、株式会社ア
 トラス、株式会社翔泳社、株式会社マーベラス
 エンターテイメント、株式会社アリスカ、株式
 会社アムリード、株式会社山崎屋、株式会社ブ
 ロボックス、テクモ株式会社、株式会社マーク、
 株式会社豊島園、株式会社平和フーズ、株式会
 社マイカルクリエイト、株式会社電通テック
 主要取引銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社UFJ銀行
 株式会社三井住友銀行 株式会社東京三菱銀行
 UFJ信託銀行株式会社 住友信託銀行株式会社
 役員 代表取締役社長 久保 敏 志
 取締役(商品担当) 八百 博 徳
 取締役(営業担当) 中 村 英 記
 取締役(管理担当) 中 川 上 優
 監 査 役 西 田 昌 弘
 監 査 役 菅 生 新

○子会社の概要

商号 株式会社サンエス
 英文社名 SAN-S CO.,LTD.
 設立 1993年9月9日
 代表者 代表取締役社長 久保 敏志
 事業内容 キーホルダー、携帯電話関連グッズ等のキ
 ャラクターグッズの物販向け卸販売
 資本金 10,000,000円
 主要取引先 株式会社キデ
 ィランド、日本トイザラス株式会社、株式会
 社ロフト、株式会社東急ハンズ、株式会社平
 和堂、株式会社博品館、イオン株式会社、株
 式会社ららぽーと、東映株式会社、株式会
 社ドン・キホーテ、株式会社しまむら、株式
 会社イズミ、株式会社マイカル、株式会社リテ
 イルネットワークス、JR九州リーテイル株式
 会社、株式会社ソニープラザ、株式会社丸井、
 株式会社イエローサブマリン、株式会社テラ
 商号 株式会社ケー・ディー・システム
 英文社名 KD.SYSTEM CO.,LTD.
 設立 2002年11月25日
 代表者 代表取締役社長 八百 博徳
 事業内容 電子玩具・電子雑貨の企画開発・販売
 資本金 40,000,000円
 主要取引先 株式会社三越、株式会社マリモクラフト、
 イー・ディー・アイ株式会社、中越自動車
 用品株式会社、株式会社エトワール海渡

○会計監査人

中央青山監査法人(関与社員が執務する事務所)
 〒530-8248 大阪市北区中之島3-3-3 中之島三井ビルディング15階
 TEL 06 (6479) 6011 FAX 06 (6479) 6021

○事業所

大阪、東京、名古屋、福岡



Stock Information 株式情報 (2003年9月30日現在)



○株式の状況

会社が発行する株式の総数 ————— 11,255,460株
 発行済株式の総数 ————— 4,597,324株
 株主数 ————— 1,244名
 証券コード ————— 7608

○大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
久保敏志	2,222,691	48.34
ゴールドマンサックスインターナショナル	307,300	6.68
田中美晴	120,000	2.61
八百博徳	55,215	1.20
澤田禎夫	51,900	1.12
エスケイジャパン従業員持株会	49,385	1.07
久保三則	40,000	0.87
中村英記	39,600	0.86
ドイツバンクアーグロンドンビーゴ ドイツ・クレジット・イン・ヨーロッパ	37,700	0.82
和泉真人	36,200	0.78
筒井雅久	24,900	0.54
野崎伸一	24,600	0.53
久保山浩樹	23,000	0.50
水浦敏弘	22,050	0.47
久保泰子	21,000	0.45

○株主分布状況

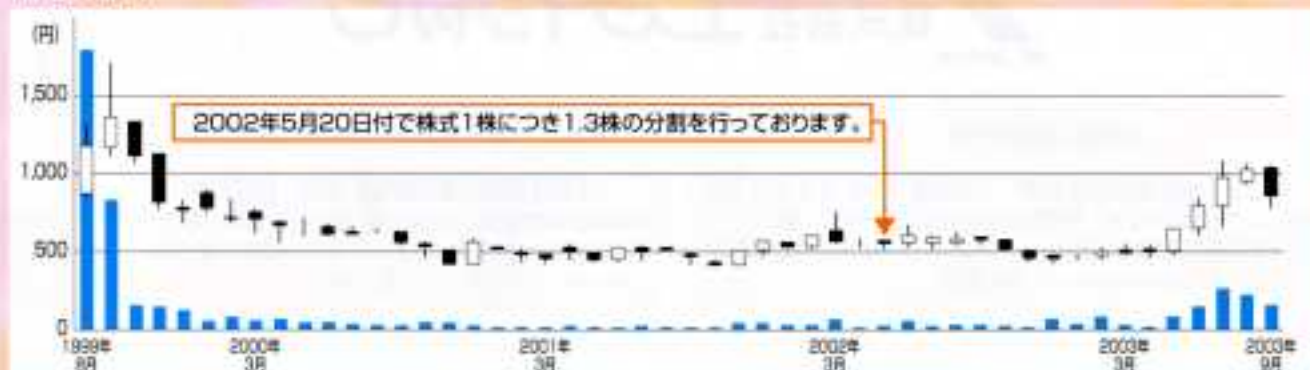
【所有者別株式分布状況】



【地域別株主分布状況】



【株価の推移】



(注) 2003年2月までは大阪証券取引所、3月以降は東京証券取引所の株価を表示しております。



株主メモ

- 決算期 毎年 3月31日
- 定時株主総会 毎年 6月
- 基準日 毎年 3月31日
その他必要があるときは予め公告をして定めます。
- 配当金受領株主 利益配当金 毎年 3月31日
確定日 中間配当金 毎年 9月30日
- 1単元の株式数 100株
- 名義書換代理人 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部
TEL 06 (6229) 3011 (代表)
- 同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
- 上 場 証 券 取 引 所 株式会社東京証券取引所市場第二部
株式会社大阪証券取引所市場第二部
- 公告掲載新聞名 日本経済新聞

なお、日本経済新聞に掲載しておりました決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページ (<http://www.sk-japan.co.jp>) によることとさせていただきます。

配当金はお早めにお受け取りください。

今回お届けした郵便振替支払通知書による配当金のお受け取り期間は2004年1月14日(水)までとなっております。郵便振替支払通知書をお持ちになってお近くの郵便局で、お早めにお受け取りください。

お受け取り期間を過ぎたら…

お受け取り期間を過ぎますと、郵便局でのお受け取りができなくなります。郵便振替支払通知書の裏面に、お受け取り方法をご指定のうえ、UFJ信託銀行大阪支店証券代行部までご郵送ください。

郵便振替支払通知書を紛失された場合は…

UFJ信託銀行大阪支店証券代行部までご連絡ください。なお、支払の確認と再発行の手続きのため、お支払まで多少日数を必要としますので、予めご了承ください。

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

☎ 0120 (24) 4479 (本店証券代行部)

☎ 0120 (68) 4479 (大阪支店証券代行部)

🌐 <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>



株式会社 エスケイジャパン

お問い合わせ先

〒540-0005 大阪市中央区上町一丁目3番10号 エスケイビル
株式会社エスケイジャパン 経営企画室IR担当：野崎、畑
TEL：06 (6765) 1355 (直通) FAX：06 (6765) 0880
E-MAIL：ir@sk-japan.co.jp (IR専用)

ホームページもご覧ください。

<http://www.sk-japan.co.jp>

IR情報や財務状況、また社員日記など当社の情報を満載しております。2003年9月にリニューアルオープンしました。是非当社ホームページにアクセスしてください。

